

逆たこつば型左室壁運動異常を来たした悪性症候群の1例

大田 大樹 村井 映 田中 潤一
益崎 隆雄 後藤 英一 田中 経一

福岡大学病院救命救急センター

抄録：精神疾患患者の ICU 管理中，突然，心電図上 ST-T 変化，両側びまん性肺水腫を来たした症例を経験した．虚血性心疾患を疑い緊急冠動脈造影を施行したが冠動脈に有意狭窄を認めず，左室造影にて逆たこつば型左室壁運動異常を認めた．血行動態では心収縮力低下，著しい動脈圧上昇および末梢血管抵抗増加を認め，血清学的検査でカテコラミン過剰を認めた．本症例の心筋障害の原因として器質的疾患を認めず，臨床経過より精神疾患患者への ICU 管理に伴う精神的・肉体的ストレスにより内因性カテコラミン分泌過多を生じカテコラミン心筋障害が発生した可能性が考えられた．心電図上突然の ST-T 変化を認めた場合，虚血性心疾患の鑑別診断として内因性カテコラミンによる心筋障害の可能性も考慮すべきである．

キーワード：逆たこつば型心筋症，びまん性肺水腫，カテコラミン心筋障害，ICU 管理，精神的・肉体的ストレス